

1 級舗装施工管理技術者 応用試験

合格のための学習計画の手引き

本書「年度別 問題解説集 1 級舗装施工管理応用試験」は、最新問題を中心として、合格への流れを解説したものである。本書の特長は、実力判定模試と、経験記述の書き方についての詳細な解説(動画講習)を提供していることにある。これは、今年度の試験に出題される問題を想定し、その攻略法を解説した合格のための虎の巻である。

学びを変える! GET 研究所

1 本書「年度別 問題解説集 1 級舗装施工管理応用試験」の構成

ガイダンス 受験ガイダンス & 学び方講習

第 1 編 経験記述の考え方・書き方講習

第 2 編 最新 10 年間の応用試験の問題と解答・解説

第 3 編 1 級舗装施工管理技術者応用試験 スーパーテキスト

第 4 編 1 級舗装施工管理技術者応用試験 精選模試

2 読者サポート

動画

受験ガイダンス & 学び方講習	無料	YouTube	動画講習
経験記述の考え方・書き方講習	無料	YouTube	動画講習
舗装工学重要事項集の解説講習	無料	YouTube	動画講習
精選模試の解説講習	無料	YouTube	動画講習

<http://www.get-ken.jp/>

GET 研究所

検索



スーパーテキスト
無料動画



本テキスト動画視聴の
ログインパスワード

3 スーパーテキスト 経験記述添削講座 読者専用の通信講座

添削

経験記述添削(2019年6月1日~6月10日必着)

※ 経験記述添削講座の詳細については、387 ページを参照してください。

Contents

■ 合格のための学習計画の手引き…………… 1

■ 受験ガイダンス & 学び方講習 ……………**無料** YouTube 動画講習 3

第1編

経験記述の考え方・書き方講習 ……………**無料** YouTube 動画講習 11

第2編

最新10年間の問題と解答・解説…………… 29

1級舗装施工管理技術者資格試験 応用試験 分析表…………… 30

平成30年度 1級舗装施工管理技術者 応用試験…………… 31

平成29年度 1級舗装施工管理技術者 応用試験…………… 57

平成28年度 1級舗装施工管理技術者 応用試験…………… 77

平成27年度 1級舗装施工管理技術者 応用試験…………… 97

平成26年度 1級舗装施工管理技術者 応用試験…………… 112

平成25年度 1級舗装施工管理技術者 応用試験…………… 130

平成24年度 1級舗装施工管理技術者 応用試験…………… 146

平成23年度 1級舗装施工管理技術者 応用試験…………… 162

平成22年度 1級舗装施工管理技術者 応用試験…………… 179

平成21年度 1級舗装施工管理技術者 応用試験…………… 199

第3編

1級舗装施工管理技術者応用試験 スーパーテキスト…………… 219

① 舗装工学重要事項集……………**無料** YouTube 動画講習 221

② 舗装設計…………… 261

③ 舗装材料…………… 289

④ 舗装施工…………… 324

⑤ 舗装補修…………… 355

第4編

1級舗装施工管理技術者応用試験 精選模試……………**無料** YouTube 動画講習 376

GET WEB 講習 講習

2019年度
1級舗装
施工管理技術者
応用試験

受験ガイダンス & 学び方講習

無料 YouTube 動画講習

<http://www.get-ken.jp/>

GET 研究所

検索



スーパーテキスト
無料動画



本テキスト動画視聴のパスワード

無料 YouTube 動画講習 受講手順

パソコンから



http://www.get-ken.jp/

GET研究所 検索

①



クリック

②



スーパーテキスト 無料動画

クリック

スーパーテキスト 無料動画

本テキスト動画視聴のパスワード

表示された「スーパーテキスト無料動画」の「ログイン」の入力スペースに、スーパーテキストに記載されている動画講習視聴用のパスワードを入力し、ログインボタンをクリックします。

③



④

受講したい工事種別を選択します。クリックすると動画一覧に飛びます。



動画を見る

目的の動画タイトルを見るボタンです。

準備中

まだ掲載されていない動画のボタンです。公開までお待ち下さい。

⑤



画面中央の再生ボタンをクリックすると動画が再生されます。

スマホから



http://www.get-ken.jp/

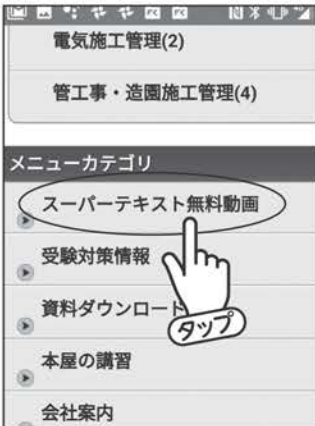
GET研究所 検索

①



①でタップして表示された画面をスクロールすると、項目の中に「スーパーテキスト無料動画」が表示されますので、これをタップします。

②



③



表示された「スーパーテキスト無料動画」の「ログイン」の入力スペースに、スーパーテキストに記載されている動画講習視聴用のパスワードを入力し、ログインボタンをタップします。

④



視聴する動画タイトルをタップします。
青文字の動画は再生可能です。
紫文字の動画は準備中です。

受講したい工事種別を選択します。タップすると動画一覧に飛びます。

⑤



動画が再生されます。

1 1級舗装施工管理技術者資格試験の受験資格

(1) 受験資格の区分

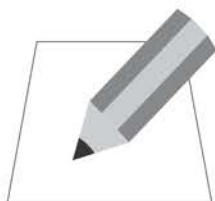
次表に示す区分①、②、③、④、⑤のいずれかに該当する方が受験できます。区分に応じて提出する書類が異なりますので注意して下さい。

※1級舗装施工管理技術者資格試験の受験資格や注釈(注1～注6)については、試験日が近づき次第、日本道路建設業協会のホームページ等でご確認ください。

区分	学歴 ^{注3)} または 取得資格等	舗装施工管理に関する実務経験の必要年数 ^{注1)}	
		指定学科 ^{注2)}	指定学科以外
①	大学卒業業者	卒業後3年以上の実務経験を有する者	卒業後4年6ヵ月以上の実務経験を有する者
	短期大学卒業業者 高等専門学校(5年制)卒業業者	卒業後5年以上の実務経験を有する者	卒業後6年6ヵ月以上の実務経験を有する者
	高等学校卒業業者	卒業後8年以上の実務経験を有する者	卒業後11年6ヵ月以上の実務経験を有する者
	その他の者	15年以上の実務経験を有する者	
②	技術士(建設部門)二次試験合格者 1級土木施工管理技術検定合格者 1級建設機械施工技術検定合格者	1年以上の指導監督的実務経験 ^{注4)} 年数が含まれていること (指導監督的実務経験は、資格取得以前のものも含まれます)	
③	2級舗装施工管理技術者試験 2級土木施工管理技術検定 2級建設機械施工技術検定の合格者	大学卒業業者	卒業後3年6ヵ月以上の実務経験を有する者
		短期大学・高等専門学校(5年制)卒業業者	卒業後6年以上の実務経験を有する者
		高等学校卒業業者	卒業後7年以上の実務経験を有する者
		その他の者	12年以上の実務経験を有する者

受験資格の区分④、⑤は、次ページに記載してあります。

第1編



経験記述の考え方・書き方講習

- 1-1 1級試験内容の構成
- 1-2 1級応用試験の構成と内容
- 1-3 1級舗装 経験記述出題の形式の例
- 1-4 経験記述の考え方
- 1-5 舗装工事名・工事内容・あなたの立場の書き方
- 1-6 舗装工事名・工事内容・あなたの立場の記述例
- 1-7 課題・対策・結果の捉え方
- 1-8 課題(200字)の記述例
- 1-9 対策(300字)の書き方
- 1-10 対策(300字)の記述例
- 1-11 結果(100字)の記述例

GET WEB 講習 講習

2019年度
1級舗装
施工管理技術者
応用試験

経験記述の
考え方・書き方講習

無料 YouTube 動画講習

<http://www.get-ken.jp/>

GET 研究所

検索



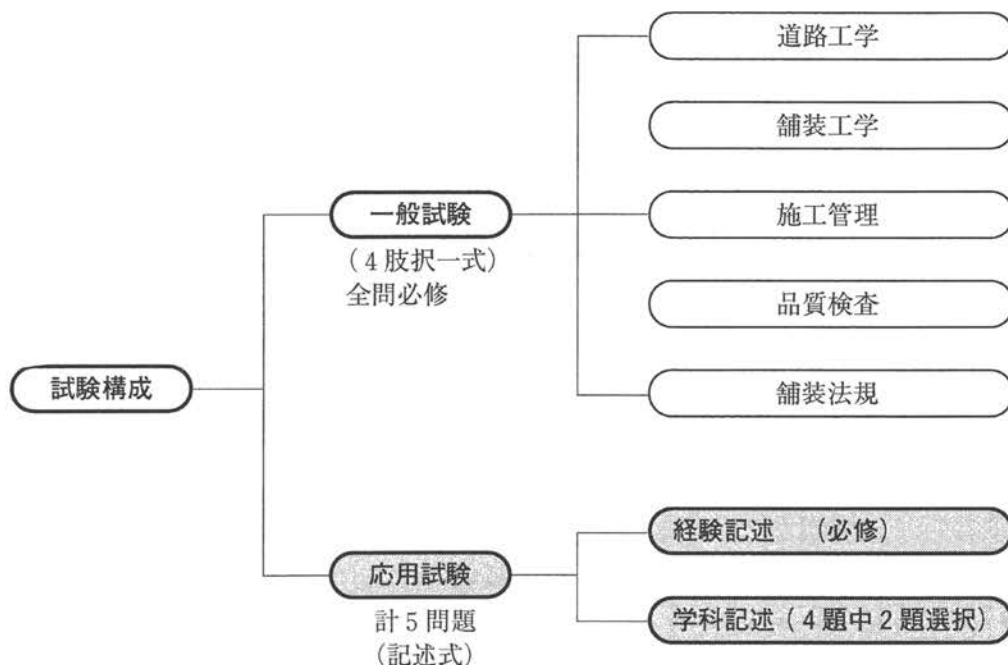
スーパーテキスト
無料動画



本テキスト動画視聴のパスワード

1-1 1級試験内容の構成

1 1級舗装施工管理技術者試験の構成



2 合格水準・正答率

合格水準は、国家試験より高く設定されていると思われる。

一般試験：正答率60%以上で60題中36問以上の正解が必要と思われる。

応用試験：経験記述はほぼ完全にできあがっていなければ合格は困難である。

学科記述は2題を100点満点とした場合65点程度以上は必要と思われる。

第2編

最新 10 年間の問題と解答・解説

1 級舗装施工管理技術者資格試験 応用試験 分析表

最新 10 年間の応用試験の問題と解答・解説

平成 30 年度	1 級舗装施工管理技術者資格試験	応用試験	問題と解答・解説
平成 29 年度	1 級舗装施工管理技術者資格試験	応用試験	問題と解答・解説
平成 28 年度	1 級舗装施工管理技術者資格試験	応用試験	問題と解答・解説
平成 27 年度	1 級舗装施工管理技術者資格試験	応用試験	問題と解答・解説
平成 26 年度	1 級舗装施工管理技術者資格試験	応用試験	問題と解答・解説
平成 25 年度	1 級舗装施工管理技術者資格試験	応用試験	問題と解答・解説
平成 24 年度	1 級舗装施工管理技術者資格試験	応用試験	問題と解答・解説
平成 23 年度	1 級舗装施工管理技術者資格試験	応用試験	問題と解答・解説
平成 22 年度	1 級舗装施工管理技術者資格試験	応用試験	問題と解答・解説
平成 21 年度	1 級舗装施工管理技術者資格試験	応用試験	問題と解答・解説

1級舗装施工管理技術者試験

応用試験の分析表(最新5年間)

問題	分野	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
問 1	経験記述	<ul style="list-style-type: none"> ●「工程」 ●「出来形・品質管理」 ●「安全管理」について記述 ①課題200字 ②対策300字 ③結果100字	<ul style="list-style-type: none"> ●「工程」 ●「出来形・品質管理」 ●「安全管理」について記述 ①課題200字 ②対策300字 ③結果100字	<ul style="list-style-type: none"> ●「工程」 ●「出来形・品質管理」 ●「安全管理」について記述 ①課題 200字 ②対策 300字 ③結果 100字	<ul style="list-style-type: none"> ●「工程」 ●「出来形・品質管理」 ●「安全管理」について記述 ①課題200字 ②対策300字 ③結果100字	<ul style="list-style-type: none"> ●「工程」 ●「出来形・品質管理」 ●「安全管理」について記述 ①課題200字 ②対策300字 ③結果100字
問 2	設計	①理論的設計方法 ② CBR _m の計算 ③ T _A 法による断面計算	①疲労破壊輪数・塑性変形輪数 ② CBR _m データの棄却 ③補修断面の設計	①舗装設計・バリアフリー新法 ②路床改良の CBR ③等値換算厚の計算	①疲労破壊輪数 ②設計 CBR ③オーバーレイ厚さ	① CBR _m の計算 ② T _A の計算 ③舗装の設計
問 3	材料	①剥離防止対策 ②製鋼スラグ ③コンクリートのスランプ ④コンクリートの目地構造	①骨材粒度による流動対策 ②共通範囲と設計As量 ③フィラーの種類と役割 ④アスファルト中間層	①配合設計 ②粒度調整砕石 ③砕石の品質	①剥離対策 ②プライムコート ③締固め度の計算	①耐摩耗対策 ②ポリマー改質アスファルトの種類 ③ DSの計算
問 4	施工	①路床・路盤の築造工法 ②タックコートの目的 ③寒冷期の加熱As舗設	①As舗装縦継目の施工 ②普通Con版の施工手順 ③路上路盤再生工法 ④タックコートの施工	①構築路床 ②下層路盤 ③舗装の交通開放 ④暑中コンクリート	①粒度調整工法 ②ヘアークラック ③中温化技術 ④セットフォーム工法	① As フィニッシュの機能 ②プライムコートの目的 ③仕上げ転圧 ④コンクリート版の養生
問 5	補修工法	①既設舗装調査 ② As 舗装損傷の原因と修繕 ③リフレクションクラック ④ Con 舗装目地部の角欠け	①舗装試験の評価指標 ② As 舗装初期段階の破損と補修 ③ 予防的維持工法 ④ Con 舗装のすべり抵抗性	① 既設舗装の調査 ② 破損の原因と補修工法 ③ リフレクションクラック ④ 補修機械	① 表層性能測定試験 ② オーバーレイ準備工 ③ 破損要因	① 亀甲状ひび割れ補修工法 ② 切削オーバーレイ ③ 既設舗装の調査方法

As:アスファルト Con:コンクリート

平成30年度 舗装施工管理技術者資格試験

1 級 応 用 試 験

試 験 問 題

試験開始前に次の注意をよく読んで下さい。

[注意]

- ① 合図があるまで、次ページ以降を開いてはいけません。
- ② この表紙の上の欄に受験地、受験番号、氏名を必ず記入して下さい。
- ③ 試験問題には必須問題と選択問題があります。
- ④ 問1は必須問題です。受験番号を記入のうえ、必ず解答して下さい。
- ⑤ 問2から問5までは選択問題です。このうち問題を2つ選択して、受験番号を記入のうえ、解答して下さい。問題を3つ以上解答した場合は減点となります。
- ⑥ 解答は、所定の解答欄に記入して下さい。
- ⑦ 答を訂正する場合は、消しゴムで丁寧に消して訂正して下さい。
- ⑧ この試験問題・解答用紙の余白を計算などに使用しても、差支えありません。
- ⑨ 退席の際に、この試験問題・解答用紙は回収します。持ち帰りは厳禁です。
- ⑩ 試験問題では、「アスファルトコンクリート舗装」を「アスファルト舗装」「セメントコンクリート舗装」を「コンクリート舗装」などとしています。

第3編

1 級舗装施工管理技術者応用試験

スーパーテキスト

第1章 舗装工学重要事項集 無料 YouTube 動画講習

第1節 舗装の試験

第2節 舗装重要用語・重要数値の総整理

第2章 舗装設計

第1節 舗装設計の基本

第2節 路床設計

第3節 舗装設計

第3章 舗装材料

第1節 路床・路盤の配合と材料

第2節 アスファルト混合物の配合と材料

第3節 舗装材料品質と用途

第4章 舗装施工

第1節 路床・路盤の施工

第2節 アスファルト混合物の施工

第3節 ポーラスアスファルト混合物等の施工

第5章 舗装補修

第1節 舗装調査

第2節 機能的補修工法・予防的維持工法

第3節 構造的補修工法

GET WEB

講習 講習

2019年度
1級舗装
施工管理技術者
応用試験

舗装工学重要事項集の 解説講習

無料 YouTube 動画講習

<http://www.get-ken.jp/>

GET 研究所

検索



スーパーテキスト
無料動画



本テキスト動画視聴のパスワード

第1章 舗装工学重要事項集

第1節 舗装の試験

- 路床・路体の試験
- 下層路盤・上層路盤の試験
- 基層・表層の試験
- コンクリート、目地材、セメントミルクの試験
- 調査・性能の試験

路床・路体の試験

	試験名	試験で求める値	結果の利用
原位置試験	<input type="radio"/> 標準貫入試験	N値〔回〕	路体の支持力
	<input type="radio"/> 平板載荷試験	K値〔MPa/m ³ 〕	コンクリート舗装路盤設計
	<input type="radio"/> 現場CBR試験	CBR値〔%〕	軟弱路床のCBR値
	<input type="radio"/> コーン貫入試験	コーン指数 q_c 〔kN/m ² 〕	建設機械の走行性の判定
	<input type="radio"/> スウェーデン式サウンディング	N_{sw} 〔半回転数〕	路体の支持力
	<input type="radio"/> 弾性波探査	弾性波速度 V 〔km/h〕	岩盤掘削方法
	<input type="radio"/> 電気探査	電気抵抗〔 Ω 〕	地下水位の位置の推定
	<input type="radio"/> 単位体積質量試験(砂置換法)	締固め土の密度〔g/cm ³ 〕	路床・路盤の締固め管理 締固め度 $\rho_d/\rho_{dmax}\times 100\%$
	<input type="radio"/> RI試験	締固め土の密度〔g/cm ³ 〕	路床・路盤の締固め管理
	<input type="radio"/> ブルーフローリング	沈下量〔mm〕	路床・下層路盤の締固め管理
室内試験	<input type="radio"/> 突固めによる土の締固め試験	最大乾燥密度 ρ_{dmax} 〔g/m ³ 〕 最適含水比 w_{opt} 〔%〕	路床・路盤の締固め度の算出と盛土管理
	<input type="radio"/> 室内CBR試験	CBR値〔%〕	設計CBRの算出
	<input type="radio"/> 土の一軸圧縮試験	一軸圧強さ q_a 〔MPa〕	粘性土路体のせん断強さ
	<input type="radio"/> 含水比試験	含水比 w 〔%〕	施工含水比の調整
	<input type="radio"/> 土粒子の密度試験	密度〔g/cm ³ 〕、 飽和度〔%〕、空隙率〔%〕	粘性土の盛土の施工管理
	<input type="radio"/> 液性・塑性限界試験	液性限界含水比 w_L 〔%〕 塑性限界含水比 w_P 〔%〕	塑性指数 $PI = w_L - w_P$ 材料の選定
	<input type="radio"/> 有機物含有量試験	強熱減量〔%〕	路体改良工法
	<input type="radio"/> 凍上試験	凍上率〔%〕	凍上抑制材料の選定
路床材料	<input type="radio"/> 生石灰・消石灰規格試験	酸化カルシウム量〔%〕	生石灰・消石灰の選定
	<input type="radio"/> セメント規格試験	圧縮強さ〔MPa〕など	セメントの選定
	<input type="radio"/> 安定処理混合物のCBR試験	CBR値〔%〕	セメント・石灰の添加量の設計
	<input type="radio"/> 締固めを伴わない安定処理土のCBR試験	CBR値〔%〕	軟弱土のセメント・石灰添加量の設計

○印 重要度の高いもの

下層路盤・上層路盤の試験

	試験名	試験で求める値	結果の利用
骨材試験	粗骨材の密度・吸水率試験	表乾密度 [g/cm ³] かさ密度 [g/cm ³] 吸水率 [%]	アスファルト混合物の配合設計
	細骨材の密度・吸水率試験	表乾密度 [g/cm ³]、かさ密度 [g/cm ³]、見掛密度 [g/cm ³]、吸水率 [%]	アスファルト混合物の配合設計
	○ 骨材のふるい分け試験	粒度	路盤・アスファルト混合物を粒度 2.36 mmまたは 75 μmのふるいの通過量で管理
	○ 硫酸ナトリウムによる安定性試験	骨材の損失量 [%]	路盤 20%以下、アスファルト混合物 12%以下
	○ ロサンゼルス試験機による粗骨材のすり減り試験	すり減り量 [%]	路盤 50%以下、アスファルト混合物 30%以下
	粗骨材中の軟石量試験	軟石質量百分率 [%]	アスファルト混合物で 5%以下
	骨材の形状試験	細長扁平骨材含有量 [%]	アスファルト混合物骨材適否
	○ 鉄鋼スラグ呈色判定試験	比色判定	エージング終了判定
	○ 80℃水浸膨張試験	平均膨張比 [%]	路盤材 1.5%以下、アスファルト混合物材 2.0%以下
	鉄鋼スラグの一軸圧縮試験	一軸圧縮強さ σ_n [MPa]	水硬性鉄鋼スラグを評価する
安定処理混合物	○ 安定処理混合物の突固め試験	最大乾燥密度 ρ_{dmax} [g/cm ³] 最適含水比 w_{opt} [%]	施工含水比を求める
	○ 安定処理混合物の一軸圧縮試験	添加材量 [%] と一軸強さ [MPa]	路盤配合設計（添加量の設計）
	路盤材・路床材のレジリエントモジュラス試験	弾性係数 [MPa] ポアソン比	舗装の理論設計

第2章 舗装設計

第1節 舗装設計の基本

- 舗装設計技術基準
(必須3性能指標)
- 舗装設計技術基準
(必要に応じて定める性能指標)
- 舗装断面の構成
- 舗装断面の設計条件
- 舗装構造の設計法

舗装設計 舗装設計技術基準（必須3性能指標）

舗装設計技術基準は、舗装断面設計の基本的な基準を定めるもので、基準の範囲内で、道路管理者が実状に応じてその性能指標および性能指標の値を定める。

1 舗装の構造の原則

次の4つの項目についての原則に基づき舗装断面設計する。

(1) 地質・気象条件

地域の地質、気象、交通状況を考慮し、通常の衝撃に安全であること。

(2) 再生資源活用の推進

環境への負荷を軽減するため、舗装発生材および他産業資源を使用し、リサイクルの推進に努めること。

(3) 透水性舗装の推進

自動車の安全かつ円滑な交通を確保するため、状況に応じ雨水を道路の路面下に円滑に浸透させること。

(4) 路床凍結融解対策の実施

積雪寒冷地域にあつては、路床土の凍結融解による破損を防止すること。

2 必須3性能と性能指標値

(1) 疲労破壊輪数

- ① 疲労破壊輪数とは、普通道路において、舗装路面に49キロニュートンの輪荷重を繰り返し加えた場合に、舗装にひび割れが舗装下面から発達して表層面上に生じるまでに要する回数で、舗装を構成する層の数並びに各層の厚さ及び材質（以下「舗装構成」という。）が同一である区間ごとに定められるものをいう。
- ② 普通道路の疲労破壊輪数の性能指標値は、図表2-1の値で表される。舗装の設計期間が10年以外の場合では、年数に比例して疲労破壊輪数を増減する。

交通量区分	舗装計画交通量 (単位：台/日・方向)	疲労破壊輪数 (単位：回/10年)
N 7	3,000 以上	35,000,000
N 6	1,000 以上 3,000 未満	7,000,000
N 5	250 以上 1,000 未満	1,000,000
N 4	100 以上 250 未満	150,000
N 3	40 以上 100 未満	30,000
N 2	15 以上 40 未満	7,000
N 1	15 未満	1,500

図表 2-1 疲労破壊輪数の基準値（普通道路、標準荷重 49kN）

③ 小型道路の疲労破壊輪数は、17kN の輪荷重について図表 2-2 の値とする。

交通量区分	舗装計画交通量 (単位：台/日・方向)	疲労破壊輪数 (単位：回/10年)
S 4	3,000 以上	11,000,000
S 3	650 以上 3,000 未満	2,400,000
S 2	300 以上 650 未満	1,100,000
S 1	300 未満	660,000

図表 2-2 疲労破壊輪数の基準値（小型道路、標準荷重 17kN）

(2) 塑性変形輪数

- ① 塑性変形輪数とは、アスファルト舗装の表層の温度を 60 度とし、舗装路面に 49 キロニュートンの輪荷重を繰り返し加えた場合に、当該舗装路面が下方に 1 ミリメートル変位するまでに要する回数で、舗装の表層の厚さ及び材質が同一である区間ごとに定められるものをいう。
- ② 塑性変形輪数の性能指標値は、普通道路の場合、図表 2-3 の値で表される。塑性変形輪数は、アスファルト舗装に適用し、コンクリート版の舗装ですらで満足されているので塑性変形輪数は、設計時考慮しなくてよい。
- ③ 小型道路の塑性変形輪数は、道路の区分にかかわらず 500 回/mm 以上とする。

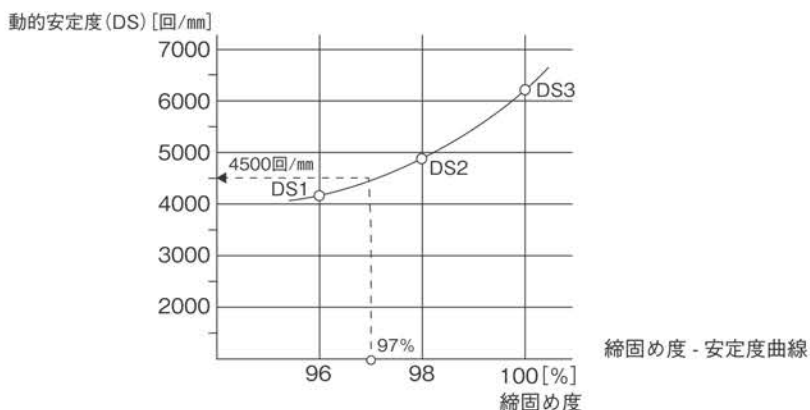
区 分	舗装計画交通量 (単位 1 日につき台)	塑性変形輪数 (単位 1 ミリメートル につき回)
第 1 種、第 2 種、第 3 種第 1 級 及び第 2 級並びに第 4 種第 1 級	3,000 以上	3,000
	3,000 未満	1,500
その他		500

図表 2-3 塑性変形輪数（アスファルト舗装）

- ④ 塑性変形輪数は、ホイールトラッキング試験機による耐流動性と動的安定度(DS)の測定で評価する。ホイールトラッキング試験には、A 法(現地の締固め度に応じて評価する方法)と B 法(舗装調査・試験法便覧による方法)がある。
- ⑤ A 法による塑性変形輪数の確認では、ホイールトラッキング試験における輪荷重と接地圧の荷重条件を 0.59MPa として、3 種類の締固め度(96%、98%

,100%)の供試体を製作する。

- ⑥ A 法は、塑性変形輪数の基準値に対する合否判定のみではなく、配合設計や品質管理を行う場合にも適用できる。一例として、3種類の締固め度(96%,98%,100%)に対する動的安定度(DS1,DS2,DS3)を求めた後、下図のような締固め度・安定度曲線(横軸が締固め度 [%]、縦軸が動的安定度 [回/mm])を作成すると、「現場における舗装の締固め度が97%であれば、その動的安定度(DS)は4500回/mmである」といったことが読み取れる。



- ⑦ B 法による塑性変形輪数の確認では、ホイールトラッキング試験における輪荷重と接地圧の荷重条件を 0.63MPa として、締固め度 100%±1%を目標として供試体を製作する。
- ⑧ B 法は、材料特性の評価試験であるため、塑性変形輪数の基準値に対する合否判定のみ(動的安定度によるアスファルト混合物の耐流動性の適否判定のみ)を行う場合に適用できる。

(3) 平たん性

- ① 平たん性とは、舗装道の車道(2以上の車線を有する道路にあっては、各車線。)において、車道の中心線から1メートル離れた地点を結び、中心線に平行する2本の線のいずれか一方の線上に延長1.5メートルにつき1箇所以上の割合で選定された任意の地点について、舗装路面と想定平たん舗装路面との高低差を測定することにより得られる、当該高低差のその平均値に対する標準偏差で、舗装の表層の厚さ及び材質が同一である区間ごとに定められるものをいう。
- ② 平たん性の性能指標値は、普通道路および小型道路について、施工直後に測定し、2.4mm以下とする。
- ③ 平坦性を求めるときは、マンホールなどの特別な部分の凹凸は算入しない。

必要により定める性能指標の定義と性能指標の確認方法を整理しよう。

1 必要に応じて定める性能指標

(1) 浸透水量

- ① 浸透水量とは、舗装面において、直径 15 センチメートルの円形の舗装路面の路面下に 15 秒間に浸透する水の量 [ℓ] で、舗装の表層の厚さ及び材質が同一である区間ごとに定められるものをいう。
- ② 浸透水量の性能指標値は排水性舗装、透水性舗装に適用されるもので、道路の区分に応じて図表 2-4 のようである。

区 分	浸透水量 (単位 15 秒につき ミリリットル)
第 1 種、第 2 種、第 3 種第 1 級 及び第 2 級並びに第 4 種第 1 級	1,000
その他	300

図表 2-4 浸透水量

(2) 道路の性能指標のまとめ

図表 2-5 は、道路の性能指標と路面の有する機能について、まとめた表であり、性能指標および性能指標の値は道路管理者が定めるものである。

その他の性能には、舗装を明るくする明色性能、車両の安全を守るすべり抵抗性などがある。

性能			性能指標	
安全な交通の確保	車両の操作性	すべらない	すべり抵抗	すべり抵抗値
	路面視認性 ハイドロプレーニング現象がない 水はねがない	わだち掘れが小さい	耐塑性変形 耐摩耗 耐骨材飛散	塑性変形輪数 すり減り減量 ねじれ抵抗性
	明色性	明るい	明色	輝度
快適性の確保	疲労破壊していない	ひび割れがない	耐久	疲労破壊輪数
	乗心地がよい 水はねがない	平坦性である 透水する	平坦である 透水	平坦性 浸透水量
環境の保全の確保	騒音が小さい 振動が小さい 地下水を涵養する	騒音・振動が小さい 透水する	騒音低減 振動低減 透水	騒音値 振動レベル 浸透係数

図表 2-5 各種性能指標